

近代日本文化研究Ⅱ

科目ナンバリング JLT-102
必修 2単位

濱田 陽

1. 授業の概要(ねらい)

日本列島において十二支動物は、千数百年にわたって時間や方位の把握に用いられてきた。十二支の時空のシステムは数字の反復や積算ではなく、玄妙に変化する地球、太陽、月などの自然と生きものや人の関係として展開してきた。

列島に伝承された神話、物語、民俗、宗教などを考察し、個性あふれる十二支動物を導き手として、生きとし生けるものが織りなす日本文化の時空に分け入り、伝統文化と近代文化双方の知識を培いながら伝統の日本、近代日本、現代文明がはらむ課題を深く学ぶ。

2. 授業の到達目標

日本文化への多様な視座を養い、講義・教科書の内容をふまえて自身の感想を展開し、内容の深い考察をまとめる思考力、文章表現力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業参加、期末レポートにより総合評価

*期末レポートのテーマは最終講義日2週間前に発表予定

4. 教科書・参考文献

教科書

濱田陽 『日本十二支考 文化の時空を生きる』(2017年1月刊)

秋期は本書の後半を中心に学ぶ。 中央公論新社

5. 準備学修の内容

教科書に沿って進むため、次回授業で扱う予定の箇所を通読しておくこと。一回の授業で平均15ページ分ほど進むことを目安とする。

6. その他履修上の注意事項

授業中に教科書中の着目すべき箇所を自分の判断でマークし、主体的に気づいたことや考えをメモするなど(教科書に書き込んでもポストイットなどを用いてもよい)、時間をかけて一步一步理解を深めていって欲しい。

「7.各回の授業内容」には教科書各章が割り振られているが、章によって分量の差があるため、じつさいの授業進行はある程度前後することを前提としてほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 第二部 十二支動物と日本文化の時空の旅
第二部第四章 卯-兎 弱さの希望
豊穡のシグナル／地下世界への導き、こころの鏡／いとおいしい希望
- 【第2回】 第二部第五章 辰-龍 想う、自然の精霊
激情を受けとめる／龍を失う／意味の方法
- 【第3回】 第二部第六章 巳-蛇 実をはかる生きた尺度
大地、海、空／いのちと環境／生きた尺度
- 【第4回】 第二部第七章 午-馬 近しい神の乗り物
日本馬の魂／時空を凝縮する／愛する理由
- 【第5回】 第二部第八章 未-羊 遠いあこがれ
羊の影／変換力をあこがれ／ひつじの謎
- 【第6回】 第二部第九章 申-猿 群れの誇り高い自由
近い親しさの畏敬／誇り高い自由／古代人の創造力の新鮮
- 【第7回】 第二部第十章 酉-鶏 個の、恋するプライド
勇敢な鶏の居るところ／たまご、ひよこ、恋するにわとり／神をも動かす声
- 【第8回】 第二部第十一章 戌-犬 伴侶力
ともに渡り、ともに生き抜く／会いたい、会えない想いを超えるとき／いつの日か花を咲かそうよ
- 【第9回】 第二部第十二章 亥-猪 独りで出会う野生
野生の猪に祈る／循環する亥／山の神としての猪
- 【第10回】 第三部 よみがえる時空と文化学
第三部第一章 十二支の潜在力
- 【第11回】 第三部第二章 世界の文化へー未来の十二支
- 【第12回】 第三部第三章 文化学への関心
- 【第13回】 第三部第四章 存在と超越性
- 【第14回】 第三部第五章 復活に気づく
- 【第15回】 まとめ、期末レポートのテーマについて解説